

令和 6 年度 練馬区災害医療運営連絡会専門部会の検討結果について

1 令和 6 年度検討事項

災害時医療に関する課題整理

2 検討経過

日時等	検討内容
第 1 回専門部会 令和 6 年 8 月 28 日（水）	・ 医療救護所における医療救護班等活動マニュアルの改定について
第 2 回専門部会 令和 7 年 1 月 27 日（月）	・ 医療救護所における医療救護班等活動マニュアルの改定について（再修正案） ・ 令和 7 年度LINE WORKS運用の見直しおよび安否確認システムの導入について

3 検討結果

検討事項(1)	医療救護所における医療救護班等活動マニュアルの改定について
医療救護所での医療救護活動の中心を担う各師会要員の活動内容や、災害対策健康部（区役所）との連携を始めとした医療救護所の運営方法等について、発災直後から超急性期を中心に、具体的な事項をまとめたマニュアルである。平成30年度災害医療運営連絡会で検討し、平成31年3月に策定した。 前回の更新（令和3年3月）から約4年が経過し、この期間に東京都地域防災計画や練馬区地域防災計画の改定等があり、災害医療に関する最新の情報等を反映したマニュアルへ改定する。	

《検討結果》 資料1-2～1-4のとおり

専門部会での協議や医療救護所訓練等での検証を通じて、現行マニュアルの内容と実際の運用状況で一致していない箇所が複数確認された。文言の修正、文章の統合や構成の見直し等を行い、別紙のとおり改定案を策定した。資料編に掲載している備蓄医薬品の見直し等については、令和7年度以降の課題として引き続き検討する。

検討事項(2)	LINE WORKS運用の見直しおよび 安否確認システムの導入について
令和4年度に災害時医療救護体制の関係者との共通連絡ツールとして「LINE WORKS」を導入した。 約3年間の試行運用の状況等を踏まえて、令和7年度以降のLINE WORKSの運用を検討する。	

《検討結果》 資料1-5のとおり

LINE WORKSの試行運用状況を踏まえ、利用者を目的別に分類すると、「災害時医療機関・災害時協定団体」と「医療救護所に参集する医療職」に分かれる。

災害時医療機関・災害時協定団体は、LINE WORKSの様々な機能を活用した情報連絡が必要であり、情報通信訓練等を通じて有用性を確認した。ついては、令和7年度以降もLINE WORKSを継続利用する。

医療救護所に参集する医療職の主な利用目的は、発災直後の安否確認である。

LINE WORKSでも一定程度の効果が確認されたが、より確実性を高めるため、令和7年度以降は安否確認専用システムに移行する。